

MEIJI
GAKUIN
UNIVERSITY



明治学院大学

マスコミ関係各位

2016年9月30日

明治学院大学国際平和研究所（PRIME）共催イベント

高遠菜穂子×鎌仲ひとみ×丹下紘希×林田光弘

「個がメディアになる時代に... -Takae, Iraq, Nagasaki, Fukushima,」

「ヒバクシャ 世界の終わりに」上映会&トークイベントを開催

明治学院大学国際平和研究所は、「NO WAR KNOW NUKES」キャンペーン(※)の最終イベント「個がメディアになる時代に... -Takae, Iraq, Nagasaki, Fukushima,」を10月10日(月)に白金キャンパスで開催します。

見る事も、感じる事もできない核汚染の環境のもとで生きる、イラク、アメリカ、そして日本の人々の日常の姿を記録したドキュメンタリー映画「ヒバクシャ 世界の終わりに」の上映とトークイベントを通じて、核や被ばくと戦争の問題を来場者の皆さまとともに考えていきます。

トークイベントは、イラクの現場で支援を続ける高遠菜穂子さんと、映像作家の鎌仲ひとみさん、丹下紘希さんを交えたクロストークです。イラクで実際になにが起こっているのか、高遠さんのお話を伺いながら、世界の戦争・紛争が起きている現場とメディアの伝えることがいかにかけ離れているかについて考えていきます。今回は次世代への継承もテーマのひとつとして捉え、林田光弘さんがファシリテーターとして参加します。

ぜひイベントの取材および告知をご検討ください。どうぞよろしくお願いいたします。

(※)「NO WAR KNOW NUKES」キャンペーン <http://nowarknownukes.com/>

原発再稼働、新安保法制施行一今、日本がまた大きく舵をきろうとしています。2016年は、チェルノブイリ原発事故から30年、そして終息しないままに福島原発事故から5年となります。もう一度、核や被ばくと戦争の問題をみなさんと考えていきたい。そんな思いから鎌仲ひとみの2作品とNOddINの映像作品を日本中で上映するキャンペーンです。(「NO WAR KNOW NUKES」キャンペーン WEB サイトより)

「個がメディアになる時代に... -Takae, Iraq, Nagasaki, Fukushima,」ドキュメンタリー映画「ヒバクシャ」上映&トーク

■日時：2016年10月10日(月) 16:45~20:30 (開場 16:15)

■場所：明治学院大学白金キャンパス 本館10階大会議場 (〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37)

■プログラム：第1部 (16:45~18:50) 「ヒバクシャ 世界の終わりに」上映

第2部 (19:00~20:30) 短編アニメ「戦争のつくりかた」(10分)上映とトークイベント

■入場料：学生は無料／一般の方は1000円(資料代) ■定員：90名

■お申込先・お問合せ：ぶんぶんフィルムズ TEL 03-6379-3938 / Eメール movie@kamanaka.com

■共催：ぶんぶんフィルムズ、明治学院大学国際平和研究所、劣化ウラン廃絶キャンペーン

取材のお問い合わせは…明治学院大学 総合企画室広報課 担当：田村・染川

〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37

Tel:03-5421-5165(直通) Fax:03-5421-5185

koho@mguad.meijigakuin.ac.jp <http://www.meijigakuin.ac.jp>